

表 3

分野別重要・満足意識一覧表

平成16年度 項目名	平成15年度 調査票での表現 平成16年度 項目の内容(目指すべき社会の状態)	重要意識		満足意識	
		「重要」+「どちらか といえば重要」	「どちらともいえない」+「わからない」	「満足」+「どちらか といえば満足」	「どちらともいえない」+「わからない」
		平成15年度	平成15年度	平成15年度	平成15年度
		平成16年度	平成16年度	平成16年度	平成16年度
01.人権尊重	人権侵害や差別をなくすための取組	68.0	20.6	13.7	64.9
	性別、出身地、障害の有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が十分発揮できること。	88.5	6.7	31.4	47.6
02.生涯学習	生涯学習の場と機会の提供	66.5	24.8	15.6	61.3
	誰もが興味や必要に応じて、図書館や博物館、講座などで学ぶことができる環境が整っていること。	81.4	12.0	34.7	40.3
03.学校教育	学校教育への取組	88.2	8.0	13.5	46.8
	児童生徒一人ひとりに基礎・基本の学力が定着し、自ら学び、考え、判断する力が身に付いていること。	88.4	7.4	16.7	49.7
04.青少年の 健全育成	青少年の健全育成	86.6	9.3	7.6	51.8
	青少年が犯罪や非行に走ることなく、自立性や社会性を身につけて健全に育っていること。	90.3	5.2	12.2	43.8
05.高等教育 機関	大学などの高等教育機関の充実	61.4	27.8	10.0	61.0
	県内の大学など高等教育機関において、魅力ある教育や研究が行われていること。	72.3	20.3	12.0	65.3
06.市民活動	職場へのボランティア休暇の導入など、住民が市民活動に参加しやすい条件の整備	52.0	35.9	5.7	65.8
	NPOやボランティアなどの活動、自治会やPTA等の地域活動など、様々な社会活動に参加しやすいこと。	65.6	25.7	17.9	61.7
07.文化・芸術	芸術文化にふれあう機会の提供	51.7	35.2	12.7	59.8
	音楽、美術などの様々な芸術や文化と直接触れ親しめる機会が多いこと。	62.7	26.4	18.8	52.6
08.歴史・ 文化遺産	文化遺産、史跡、天然記念物などの保存	73.0	19.2	23.6	59.3
	文化財や伝統行事などの様々な文化遺産が守られ、地域づくり等に積極的に活用されていること。	70.9	21.0	29.1	53.9
09.スポーツ・ レクリエー ション	スポーツ・レクリエーション施設の整備	63.8	25.9	21.3	47.9
	スポーツやレクリエーションを楽しむための機会や施設が充実していること。	72.8	19.1	26.4	41.6
10.地域での 防災の取組	防災対策への取組	93.6	3.6	15.2	48.4
	地震・津波、風水害などの自然災害に対して地域での自主的な備えができていないこと。	91.0	4.8	17.1	46.4
11.災害対策	洪水や高潮、土砂災害などへの対策	91.5	5.1	12.9	55.3
	洪水や高潮、土砂災害などに備える堤防や砂防ダムなどの施設が整備され、自然災害による被害を最少限におさえられること。	90.5	5.3	18.9	53.1
12.交通安全	交通安全対策の推進	90.0	6.1	17.5	47.9
	交通ルールが守られ、誰もが安全にかつ安心して道路を通行できる環境になっていること。	91.7	4.1	21.8	31.7
13.防犯	防犯活動の強化	91.2	5.8	8.7	48.4
	犯罪などに対する不安を感じることなく、安心して生活ができること。	93.8	2.6	16.8	36.4
14.食の安全	食品の安全性確保のための衛生管理指導体制の整備	86.0	9.9	12.1	58.3
	安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。	90.9	5.1	34.1	41.0
15.高齢者、 障害者の 社会参加	高齢者や障害者の就労条件などの整備	75.0	18.7	7.3	53.5
	高齢者や障害者が就労や趣味の集いなど、様々な社会参加ができること。	80.8	11.9	19.5	58.2
16.保健予防 体制	生活習慣病や感染症の予防など保健予防体制の確保	82.4	12.6	12.0	62.0
	感染症の発生、まん延や生活習慣病の不安を感じることなく生活できること。	87.2	7.3	26.6	54.5
17.子育て環境	母子保健対策、保育サービスなど子育て環境の整備	75.4	18.1	11.1	59.5
	子どもを安心して産み育てられる環境が充実していること。	85.9	8.1	22.6	47.1
18.医療体制	病状に応じて、適切な医療が受けられる患者本位の医療体制の確保	87.9	7.9	9.5	44.5
	病状に応じて、身近なところで適切な医療が受けられること。	92.6	2.3	35.1	28.5
19.福祉 サービス	訪問介護など保健・福祉サービスの提供	84.2	10.5	14.5	55.1
	看護職員、福祉ボランティア等の保健・医療・福祉や地域福祉活動に携わる人材の確保	82.8	12.2	9.5	58.7
	高齢者・障害者の介護、在宅支援などの福祉サービスが利用しやすいこと。(平成16年度は上記2項目を統合している)	87.5	6.6	24.6	48.5
20.自然環境 との共生	自然環境の保全	78.0	16.3	11.5	58.1
	自然に親しむ場の整備	64.6	25.1	14.7	58.5
	身近に触れあうことのできる豊かな自然環境があること。(平成16年度は上記2項目を統合している)	82.8	9.9	40.5	39.0
21.希少な生物	希少な野生生物の保護	58.8	29.9	6.7	73.3
	希少な野生動物や植物が保護されていること。	67.9	22.2	13.8	68.2
22.ごみの減量	ごみの減量化	90.3	5.5	20.1	40.2
	職場や家庭から出るゴミが少ないこと。	86.8	7.4	23.4	42.1

平成16年度 項目名	平成15年度 調査票での表現 平成16年度 項目の内容(目指すべき社会の状態)	重要意識		満足意識	
		「重要」+「どちらかといえ重要」	「どちらともいえない」+「わからない」	「満足」+「どちらかといえ満足」	「どちらともいえない」+「わからない」
		平成15年度	平成15年度	平成15年度	平成15年度
		平成16年度	平成16年度	平成16年度	平成16年度
23.きれいな 空気	大気汚染防止対策の強化	85.5	9.4	10.2	54.4
	空気が汚染されておらず、きれいであること。	91.2	3.4	34.5	36.7
24.川や海の 水質	川や海の水質浄化	89.6	6.1	9.7	48.1
	川や海などの水が汚染されておらず、きれいであること。	91.8	3.2	19.9	36.5
25.地球 温暖化防止	-	-	-	-	-
	温暖化の原因となる二酸化炭素などのガスについて、企業や家庭からの排出が抑えられたり、森林による吸収が高められていること。	87.8	6.2	12.9	51.6
26.農林水産業 の振興	農林水産業の活発化	59.8	32.0	5.9	67.4
	農林水産業の担い手が育ち、産業として活発であること。	72.8	19.5	7.5	63.3
27.産業振興	新しい分野の産業の育成や先端企業の誘致	56.0	32.6	8.2	65.3
	新しい分野の産業や企業の育成、先端企業の誘致などにより県内産業が活性化していること。	72.6	18.5	14.3	56.9
28.観光	三重県を訪れる人が増加するような観光施設や地域づくり	62.3	24.2	10.4	55.9
	地域の名勝や特産品などの観光資源に魅力を感じてたくさんの人が三重県を訪れること。	73.3	16.3	20.8	52.2
29.技術開発	科学技術の振興	45.1	42.5	4.7	78.3
	県内産業の発展のため、様々な分野での研究開発が進んでいること。	69.5	22.1	8.2	69.7
30.地域商工業	中小企業の支援や商店街づくりなど地域商工業の活発化	76.1	17.5	4.3	49.2
	地域の中小企業や商店街が活気に満ちていること。	78.9	13.9	6.2	38.9
31.雇用	働く場の確保と勤労者福祉の向上	87.1	8.9	4.2	44.2
	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていること。	88.6	5.9	7.5	33.9
32.職業能力 開発	社会の変化に対応した職業能力の開発訓練体制の充実	66.8	25.5	4.1	65.6
	社会の変化に対応した職業能力を身につける機会が確保されていること。	76.8	15.6	7.8	58.6
33.国際化	海外の学校との提携校の拡大など国際化社会に対応できる人材の育成	49.8	35.7	4.4	76.9
	様々な国の人々と互いに理解し合いながら、交流、共生できること。	63.0	24.7	7.9	69.6
34.広域交流・ 連携	県境を越えた児童生徒の受入れの弾力化など、他府県との共同事業の推進	38.2	45.6	2.9	81.3
	環境や防災など近隣府県等と共同で取り組むことが効果的な分野において、県境を越えた様々な交流・連携が行われていること。	68.3	22.2	8.6	71.5
35.情報 ネットワーク	ケーブルテレビの普及など情報ネットワークの整備	53.8	33.0	24.6	56.3
	インターネットなどの新しい情報手段に対応できるような情報教育の推進	61.8	28.4	13.4	65.6
	ケーブルテレビ網やインターネットなどを利用して様々な情報を得ることができること。(平成16年度は上記2項目を統合している)	68.4	20.0	28.2	54.2
36.高速交通網	空港、新幹線、高速道路など高速交通機関までおおむね30分で到達できる地域の拡大	45.6	29.9	10.8	55.7
	空港、新幹線、高速道路などの高速交通機関が利用しやすくなり、遠くの地域へ短時間で移動できること。	71.6	14.5	27.6	35.8
37.道路の整備	国道や県道の改良・整備	67.7	20.1	17.8	41.4
	道路が整備され、快適に移動できること。	79.1	11.2	29.2	33.0
38.公共交通 機関	鉄道やバスなど公共交通機関の整備	67.5	21.8	14.9	44.1
	バス、鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと。	81.6	10.8	22.2	30.1
39.港の整備	港湾の整備	39.3	45.5	7.4	76.2
	港が整備され、多くの船や人々が利用していること。	52.3	32.7	10.0	71.4
40.快適な まちづくり	公園や歩道、段差のない公共施設など快適なまちづくり	78.1	14.8	12.2	45.7
	段差のない公共施設、公園や歩道など、快適で暮らしやすいまちづくりが行われていること。	82.1	10.2	16.9	42.3
41.農山漁村 づくり	道路、生活排水処理施設の整備など若者が定住する農山漁村づくり	69.9	22.4	7.3	56.7
	農山漁村の生活基盤が整備され、住民や訪れた人々にとって魅力がある地域になっていること。	66.1	23.9	8.4	63.3
42.過疎地域等 の振興	過疎地域や離島、半島地域の活性化	45.7	41.3	3.4	72.8
	過疎地域や離島等が活性化や地域おこしの取組を通じて魅力のある地域になっていること。	59.4	28.9	5.4	68.3
43.エネルギー	省エネルギー対策の推進、太陽光発電の普及など地球に優しいエネルギー対策	79.6	15.0	6.9	58.5
	省エネルギーの意識や、太陽光発電の普及など地球にやさしいエネルギー対策が進んでいること。	79.9	12.7	10.3	58.7
44.飲料水の 供給	安心して飲める水の安定確保	93.9	3.2	32.9	36.2
	安心して飲める水が安定的に供給されること。	92.1	2.6	51.1	26.7
	国際的な環境保全への協力	45.6	42.2	4.5	81.6
		-	-	-	-
	平成15年度(47項目)の平均	70.4	21.1	11.3	57.8
	平成16年度(44項目)の平均	79.3	13.2	20.0	49.4

網掛け部分は、対前年度比で10ポイント以上の増減を示す。ただし、「19.福祉サービス」「20.自然環境との共生」「35.情報ネットワーク」は前年度の2項目の平均値に対して10ポイント以上の増減としている。